

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
令和5年度 第5回常務理事会 議事録

開催日時：令和5年12月16日（土）14時00分～15時00分

開催場所：Zoomによる会議

出席者：棚村、岡村、苅谷、高橋、伊藤、武藤、澤野、市川、森本

欠席者：清水

議長：棚村（会長）

議事録：高橋（庶務部長）

報告事項及び議題

【日臨技・県・厚労省・その他】〔棚村会長〕

1. 日臨技より、「施設実態調査」並びに「会員意識調査」実施への協力について、周知依頼が届いている。先月の定期便にて各施設に文書を送付済みである。
2. 日臨技より、梅毒啓発ポスターの案内が届いている。
3. 岐阜県健康福祉部より、保健衛生分野における叙勲及び褒章潜在者に関する調査依頼が届いている。岐臨技としては「該当者なし」で県に報告した。
4. 厚生労働省より、厚生労働省職業安定局において職業紹介事業者を利用する際の注意点をまとめるとともに、無料の職業紹介を行うハローワーク・福祉人材センター等の利用を勧奨するリーフレットが作成された。各施設には定期便にて送付し周知する。
5. アップィ合同会社より、2024年2月29日開催予定の「岐阜県ウイルス性肝炎陽性者フォローアップ推進講習会」の後援依頼が届いている。岐臨技としては後援する。
(賛成多数で承認された)

【会計部】〔苅谷会計部長〕

1. 10月分の月別集計について主だった点を報告する。
収入について：県医師会より、精度管理解析受託費として399,290円
支出について：精度管理試薬代として37,400円、印刷代（トナー、コピー機使用料）として48,694円、友誼団体費（糖尿病対策協議会）として10,000円
2. 中間決算について
中間決算書及び説明書きを常務理事会の資料に添付したので一覽してほしい。
3. 岐臨技で購入予定のパソコンについて

前回の理事会で提示した見積りに新たに一社を加えた。次回の理事会で詳細を説明する。

【渉外部】 [伊藤渉外部長]

県の公益目的支出計画の報告が完了した。

【広報宣伝部】 [市川広報宣伝部長]

現在、ホームページのバナー広告が1社のみであり、各メーカーに協力をお願いしている。一部のメーカーからは趣意書が届いていないと聞いているが、そのようなメーカーを聞いたら教えてほしい。

【組織調査部】 [澤野組織調査部長]

令和5年度「検査と健康展」を12月3日に開催した。収支は次回の理事会で報告する。今回、イベント中に血糖の簡易分析機の故障が発生した。今回はメーカーの好意で無償であった。次回からイベント中に故障した機器の修理費は岐臨技で負担したいと考えている。

[棚村会長]

機器レンタルの故障に関して、契約書は交わしているのか。

[澤野組織調査部長]

特に交わしていない。今後は確認したい。

【精度管理事業部】 [武藤精度管理事業部長]

1. 試料保管用冷凍庫について

試料保管用冷凍庫について、私（武藤部長）の立ち会いで岐臨技事務所に納品・設置された。同日、岐阜市民病院に置かれたままの冷凍庫は撤去された。岐阜市民病院には岐臨技より何らかのお礼の品（5千円～1万円）を送りたいと考えている。

(賛成多数で承認された)

2. 令和5年度精度管理調査について、

総括集の原稿がまもなく完成する。印刷は3社に見積もりをお願いしている。

精度管理報告会は令和6年1月28日にWEBで開催予定。

3. 令和6年度精度管理調査について

令和6年度からは新たに血液のサーベイ試料代が約3,000円発生する。同じく、HbA1cのサーベイ試料代（凍結乾燥品を予定）も発生する。見積り待ちであるが、3,000円以上すると予想している。このため、参加費の値上げを検討する必要がある。

臨床化学の試料について、今年の実績を基に、来年度分は技師会と医師会を併せて100セットを発注した。

【学術部】[森本学術部長]

1. 生化学部門研修会

日時：令和6年2月4日（日）10：00～

場所：L I V E配信（Z o o mミーティング）

参加費：無料

その他：県外講師1名、技師会負担は15,800円の予定（賛成多数で承認された）

2. 輸血実技研修会

日時：令和6年2月25日

場所：東海学院大学

定員：30～40名

その他：助成金申請予定。近年、精度管理の結果にばらつきがみられるため、初心者以外の技師にも参加してもらい基本操作を学んでほしいと考えている。（詳細は次回報告する）

3. 技師会誌について

投稿期限を12月31日まで延長する。印刷は2社（インターネット印刷）に見積もりをとった。安い金額のラクスルを採用したい。（賛成多数で承認された）

4. 新人サポート研修会

日時：令和6年5月19日

場所：岐阜医療科学大学

その他：3年ぶり（？）の集合形式の開催を予定している。実務委員が必要のため、執行部にも運営の協力をお願いしたい。（賛成多数で承認された）

[荻谷会計部長]

3月の県学会も岐阜医療科学大学で開催予定であるが、岐阜医療科学大学の先生には弁当の手配などの協力をしてもらえる。新人サポート研修会についても同様に協力が可能か確認する。

5. 部門員について

学術部部門長会議より、部門員の担い手が不足している意見が多くある。以前は、部門員は後任を確保してから部門員を退任するのが慣例であった。今はそうではなくなってきており、後任の確保と関係なく部門員が退任しているため、部門員の確保が困難になっている。次年度は今の体制で活動するが、再来年度以降からは部門員は地区選出制にしたかどうか、との意見がある。部門員の確保について、何か良い案はないか。

[棚村会長]

この問題は他県の技師会でも共通の問題であり、中部圏支部の理事会でも議題に挙げられている。

以前は研修会の場で技師に部門員の声かけをおこなっていたが、近年はWEBが主流なので難しいのではないかと。

[森本学術部長]

WEBの研修会では横の繋がりが得られにくいので、声かけが難しい。

[武藤精度管理事業部長]

生化学などの検体検査は技師の他部門への異動が早い傾向があるので、部門員を引き受けるのが難しいかもしれない。

同系列病院の技師には声をかけやすいが、方法や考え方が一方向に寄ってしまうデメリットがある。大学や市民病院などの大病院の技師長に頼むのがよいのではないかと。

[棚村会長]

役職のある技師は役職業務以外の技師会の仕事は負担になるため、受け取ってもらえないのではないかと。役職を持たない技師にお願いできるように全体で考えていく必要があるのかもしれない。

[森本学術部長]

部門員が対価として得られる金額が少ないのも原因のひとつではないかと。

[棚村会長]

昔はボランティアという考え方であったが、今はそうではない。

[森本学術部長]

病理細胞部門の大鹿部門長より、「どの施設に何人の病理担当技師がいるのかわからない。各施設の病理部門に携わっている技師の名簿を作りたい」との申し出があった。学術部の病理細胞部門より各施設に調査協力の依頼を送ってよいか。(賛成多数で承認された)

【庶務部】 [高橋庶務部長]

各部門の次年度事業計画を12月28日までに提出してほしい。難しい場合は遅くとも来年1月の理事会までには提出してほしい。

【岐阜地区】 [苅谷会計部長]

来年3月に予定されている県学会の市民公開講座のポスターが完成した。岐臨枝の定期便で各施設に送る。また、中濃地区の医療施設にも送る予定である。



【その他】 [棚村会長]

1. 令和6年度定時総会について

令和6年6月の2日（日）もしくは9日（日）に定時総会を開催する予定であるが、予定していた会場の確保ができなかった。現時点で岐阜清流病院を会場の第一候補に考えているが確認中である。岐阜清流病院が無理な場合は、澤田病院もしくは松波総合病院を会場にできないか。荻谷部長と森本部長には相談に乗ってほしい。

2. 次回の理事会について

次回の理事会は1月20日（土）を予定している。

議長	棚村 一彦	
議事録署名人	清水 康之	
議事録署名人	岡村 明彦	